

HITACHI
Inspire the Next

Prius
Note 200C⁽¹⁵⁾

同梱品を確認しよう 1

接続しよう 2

電源を入れよう 3

電源を入れ直そう 4

いろいろな使い方をするために 5

再セットアップについて 6

接続と準備

最初に読む本

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

お使いになる前に

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

次の内容と各マニュアルの内容をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

マニュアルの表記について

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

	重要事項や使用上の制限事項を示します。
	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
	参照先を示します。
	パソコンの用語を解説します。

- ・ マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。また、説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
- ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition を、Windows XP または Windows と省略して表記しています。

保証書について

- ・ 保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
- ・ 保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・ 保証期間終了後の修理については、お問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『困った時の Q&A』最初の頁をご参照ください。

使用許諾について

このたびは、日立パーソナルコンピューター FLORA Prius シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。システム装置をご使用になる前に下記使用許諾契約書を必ずお読みいただきご了承いただきますようお願いいたします。

本契約は、システム装置の使用をもってご承諾いただいたものとさせていただきます。本契約をご承諾いただけない場合は、ただちに全てのシステム装置のパッケージと同封物（マニュアル及びその他の印刷物、バインダー、外装パッケージ、その他一切のもの）をお買い求めの販売店にご返却ください。この使用許諾契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明となります。

本契約は、システム装置とともに取得したソフトウェアに適用されます。ただし、特定のソフトウェアについて「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等がある場合は、本契約に優先して適用されます。

使用許諾契約書

第1条 許諾

日立製作所は、お客様に対し、本契約書とともに取得したソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に関し、以下の権利を許諾します。

- (a) お客様は、本ソフトウェアを本ソフトウェアとあわせて取得したコンピューターに限り使用することができます。
- (b) 本ソフトウェアには、独立した機能をコンピューター上で実行する複数のコンポーネントが含まれていますが、全てのコンポーネントをもって1つの製品として扱わなければなりません。

第2条 著作権

- (a) 本ソフトウェア及び添付マニュアル等の著作権は、日立製作所またはそれぞれの開発元が有するものであり、日本国著作権法、アメリカ合衆国著作権法及び国際条約等により保護されています。

第3条 その他の条件

- (a) お客様は、本ソフトウェア及び本ソフトウェアに付属する全ての印刷物を複製できません。
- (b) お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させないでください。
- (c) お客様は、本ソフトウェアについて逆コンパイル、逆アSEMBルをすることはできません。

第4条 品質保証

- (a) 日立製作所は、本ソフトウェアに付属する全ての印刷物に乱丁・落丁がある場合、お買い上げ後90日間に限り補修又は交換に応じるものとします。
- (b) いかなる場合においても、日立製作所ならびに本ソフトウェア著作権保有者は本ソフトウェアの使用又は使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。

第5条 契約の解除

お客様が本契約に違反した場合は、日立製作所は、本契約を解除することができます。その場合、お客様は、本ソフトウェアを一切使用しないものとします。

株式会社日立製作所

パソコンを安全にお使いいただくために

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・ 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
 - ・ 装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。



これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



【表記例1】感電注意

この図記号は注意していただきたいことを示し、この中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例2】分解禁止

この図記号は行ってはいけないことを示し、この中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。



【表記例3】電源プラグをコンセントから抜け

この図記号は行っていただきたいことを示し、この中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。

自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭
万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを取り外してください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



修理・改造・分解
本書の指示に従って行うオプションの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。



付属品の使用
ACアダプターやバッテリーパックなどは、必ず付属または指定のものをご使用ください。それ以外のものを使用すると、電圧、最大出力電流や+ - の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。



装置内部への異物の混入
通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



ケースカバーの取り外し
ケースカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には、通電しているため、思わぬ接触など作業不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。また、バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーパックも取り外してください。



装置上に物を置く
花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。



電源コードの扱い
電源コードは、必ず付属のもののみ使用し、次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して、感電や火災の原因になります。

- ・ものを載せない
- ・引っ張らない
- ・押しつけない
- ・折り曲げない
- ・加工しない
- ・熱器具のそばで使わない
- ・束ねない



揮発性液体の近くでの使用
マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、パソコンの近くで使わないでください。パソコンの中に入って引火すると火災の原因になります。



電源プラグの抜き差し
・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

警告



電源プラグの接触不良やトラッキング
電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- ・ 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- ・ 電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
- ・ グラグラしないコンセントを使ってください。



落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



使用する電源

日本国内で利用できる電源は交流 100V です。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさによって内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。



日本国外の使用

本パソコンは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本パソコンは適合していません。



航空機内での使用

航空機内で使用するとき、航空会社の指示に従ってください。航空機の計測器などに悪影響をおよぼすおそれがあります。



バッテリーパックの保管

バッテリーパックを保管する場合は、パソコンから取り外し、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないでバッテリーパックを保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。



バッテリーパックの取り扱い

バッテリーパックは次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因になります。

- ・ 電池の+ - 端子間をショートさせない。
- ・ 火中に投入したり、100 以上に加熱しない。
- ・ 落下などの強い衝撃を与えない。
- ・ 外装パックが著しく破損するような衝撃を与えない。
- ・ 濡れた布で金属部分を拭かない。
- ・ 水に濡らしたり、濡れた手で触れない。
- ・ 分解しない。
- ・ 火のそばや、炎天下、暖房器具の近くなどで使用、放置、充電しない。
- ・ 指定外のバッテリーパックを使用しない。
- ・ 液漏れしている場合には、素手で触れない。万一付着した場合は、流水で洗い流す。

参照 関連ページ 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーの使用について」



バッテリーパックの液漏れ

誤った取り扱いをすると、バッテリーパックから液漏れすることがあります。この液体には絶対に触れないでください。もし液体が手についたときは、流水で洗い流してください。万一、口に入ったときは水でゆすぎ、目に入ったときは清水で洗い流してから、医師の診断を受けてください。

警告



バッテリーパックの持ち運び

バッテリーパックを持ち運ぶときはポリ袋などに入れてください。ほかの金属に触れ、端子間がショートし、過熱・発火・破裂などを引きおこし、火災やけがの原因になります。



バッテリーパックの充電

バッテリーパックを充電するときは必ず、このパソコンに入れて充電してください。ほかの方法では、電圧、充電時間などが異なる場合があり、破裂・発火などの原因になります。

 [関連ページ](#) [電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーパックの充電」](#)



タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



電源スイッチについて

電源スイッチを OFF にしていても、一部の回路には通電しています。休暇や旅行などで長時間ご使用にならないときは、必ず AC アダプターの電源プラグを抜き、バッテリーパックを取り外してください。万一、部品破損時には火災の原因になります。



周辺機器の増設や接続

周辺機器を増設・接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックが付いているときはバッテリーパックを外してください。マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器やパソコンの故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。



通気孔

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないようにください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。



電話線への接続と使用

雷が鳴っているときは、パソコンの使用および電話線の接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電のおそれがあります。



モデム部分への接触

内部に触れる必要があるときは、モジュラーケーブル（電話線）を抜いてください。呼び出し（ベル）着信時および雷が鳴っているとき感電のおそれがあります。

警告



ACアダプターの取り扱い

ACアダプターは、次のことに注意してお取り扱いください。火災、感電もしくは発熱によるやけどの原因になることがあります。

- ・絶対に分解しないでください。
- ・浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。
- ・水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
- ・熱がこもるような環境で使用したり、放置したりしないでください。
- ・上に物を置かないでください。
- ・必ず付属のコードセット(電源コード)を使ってください。



梱包用ポリ袋について

パソコンの梱包用エアキャップなどのポリ袋は、お子さまの手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。



モデムケーブルの接続について

モデムケーブルは、同梱のモデムケーブルを使用し、2線式のアナログ電話回線に接続してください。それ以外に接続すると、故障するおそれがあります。

⚠ 注意



部品の追加・交換

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。約 30 分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。

参照 関連ページ 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「増設作業時のお願い」



接続端子への接触

USB インタフェースコネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。



金属など端面への接触

パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

参照 関連ページ 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「増設作業時のお願い」



ディスプレイ部の破損

ディスプレイ部はガラスでできています。ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。



不安定な場所などでの使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。



目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、パソコン本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。



ヘッドホンやイヤホン

ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。

参照 関連ページ 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「接続方法」



信号ケーブルについて

- ・ ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ・ ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



低温やけど

パソコン使用中は底面が熱くなります。ひざの上などに直接のせて使用しないでください。低温やけどのおそれがあります。また、装置の一部が熱くなる場合がありますが、装置動作に支障をきたすものではありません。



眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を行うときは、作業場を 300 ~ 1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業するときは、1 時間に 10 分から 15 分程度の休息をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。



ディスプレイ部の開閉

開閉は、ディスプレイ部の中央上側を持ち行ってください。とくに閉じるときは、カチッとロックするまでゆっくりと倒してください。このようにしないと、ディスプレイ部の破損の原因になります。

注意



パソコンの廃棄

- ・ 事業者が廃棄する場合
パソコンを廃棄するときには廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物協会に用意されています。
- ・ 個人が廃棄する場合
パソコンを廃棄するときには、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。



バックアップについて

ハードディスク装置のデータなどの重要な内容は必ず補助記憶装置にバックアップを取ってください。ハードディスク装置が壊れると、データなどがすべてなくなってしまいます。



電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・ コンセントを別にする



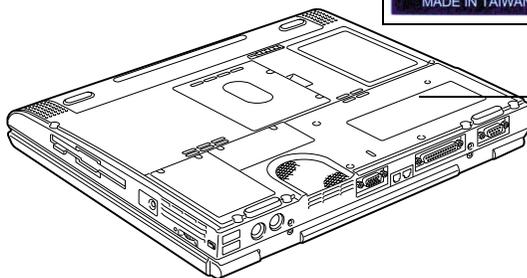
バッテリーパックの廃棄

使用済みのバッテリーパックは、希少資源（Li-ion）の有効利用のために、端子または接続コードにテープをはるなどの処置をしてから、充電式電池リサイクル協力店に持参して頂くか、お問合せ先へ処分方法をお問い合わせください。

参照 お問い合わせ先 『困った時のQ&A』
3章「お問い合わせ情報」

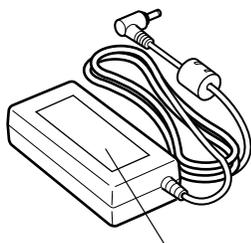
警告ラベル

パソコン



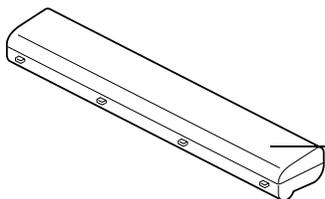
HITACHI システム装置 電圧 DC19V 電流 3.4A 株式会社 日立製作所 MADE IN TAIWAN	警告 感電、火災の原因になることがあります。 ・絶対に分解しないで下さい。 ・ACアダプタは指定されたものをご使用下さい。	
	注意 低温火傷の恐れがあります。 ・機器底部を直接肌に触れた状態で使用はしないでください。	

AC アダプター



DELTA ELECTRONICS, INC. AC ADAPTER MODEL: ADP-650B INPUT: 100-240V~1.5A 50-60Hz OUTPUT: 19V 3.42A
CAUTION: For use with Information Technology Equipment. ATTENTION: Pour matériel informatique technologie.
91-55997 INPUT: AC 100-240V 50-60Hz 1.5A-1.82VA OUTPUT: DC19V 3.16A DELTA ELECTRONICS (KOWON) CO., LTD. LPS
C.C.: S/N: MADE IN CHINA CM-1
注意 感電、火災の原因になることがあります。 ・絶対に分解しないで下さい。 ・指定の機器以外には使用しないでください。
MODEL: PCF-AP6510

バッテリーパック

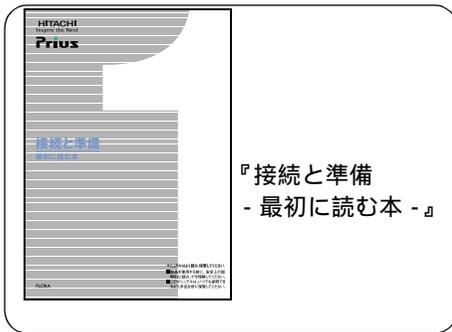


過充電、過熱、過放電の原因となるので、 ・指定された充電機のみで充電しないこと。 ・火中投入、感熱、ショート、分解などおこなわないこと。 ・水の中や湿度が高い場所で使用、保管、充電しないこと。	HITACHI Li-Ion Battery Pack Rating : +14.8V 4000mAh Model : PCF-AB6510	Li-ion	使用後はリサイクルへ Hitachi Ltd. Tokyo Japan Made in Taiwan
---	---	--------	---

パソコンを使いこなすまで

本書は、あなたがパソコンユーザーとして第一歩を踏み出すための案内書です。このページでは、パソコンを購入してからパソコンを使いこなすまでの道すじを、マニュアルの読み進め方や使い方とともに紹介します。
マニュアルに書いてある番号順に読んでください。

準備と接続、そしていよいよ スイッチ ON !



パソコンの基本を知っておこう！



1 『接続と準備 - 最初に読む本 -』

パソコンを購入してからはじめて電源を入れて動作させるまでに、必要な接続などの準備について説明しています。最初にお読みください。

2 『パソコン入門』

キーボードやマウス、Windows の使い方などを説明しています。2 番目に読むマニュアルです。

3 『始めよう！インターネット』

インターネットの始め方について説明しています。インターネットでできることや楽しみ方についても紹介しています。

4 『パソコン応用』(電子マニュアルのみ)

パソコンについての詳しい情報や、パソコンの拡張について説明しています。パソコンをさらに使いこなしたいときにお読みください。

5 『困った時の Q&A』

トラブルの解決方法などについて説明しています。また、パソコンや各アプリケーションの問い合わせ先についても紹介しています。

電子マニュアル『活用百科』

1 ~ 4 までのマニュアルと『困った時の Q&A』は、パソコンでも見ることができる電子マニュアルにして CD に収録しています。電子マニュアルの見方は、『パソコン入門』で説明しています。

用語

Windows

パソコンを操作するための基本ソフトウェア。OS(オペレーティングシステム)とも呼ばれます。

用語

インターネット

全世界のネットワークを相互に接続し、そのあいだを自由に行き来できるようにした巨大なコンピュータネットワークのこと。

パソコンでいろいろできる！



『始めよう！
インターネット』

パソコンを使いこなす！



『パソコン応用』
電子マニュアルのみ



電子マニュアル
『活用百科』

トラブルが起きてしまったら



『困った時のQ&A』

作業の流れをつかんでおこう

ここでは、このマニュアルで行う作業の流れを説明します。
購入後、箱を開けてからはじめてパソコンの電源を入れるまでには、いくつかのステップがあります。

同梱品の確認



「1. 同梱品を確認しよう」

箱の中に入っている同梱品がすべてそろっていることを確認します。

接続する



「2. 接続しよう」

パソコンを正しく使うために、パソコンを使うときに適した場所や姿勢を知っておきましょう。そのあと、パソコンを動作させるための接続をします。

電源を入れる



「3. 電源を入れよう」

電源を入れて、Windowsを使えるようにします。

もう一度、電源を入れる



「4. 電源を入れ直そう」

電源を入れ直して、デスクトップ画面が表示されるか確認します。Windowsの操作はデスクトップ画面から始めます。

その他の準備

「5. いろいろな使い方をするために」

バッテリーパックの使い方やインターネットをするための準備など、パソコンのいろいろな使い方や、パソコンの各部名前やはたらきについて説明しています。

パソコンが動かなくなった



「6. 再セットアップについて」

パソコンを出荷時に近い状態に戻すことを、再セットアップするといいます。パソコンの動作が不安定なときや、動かなくなったときに再セットアップを行います。

パソコンを再セットアップする

もくじ

お使いになる前に

マニュアルの表記について

保証書について

使用許諾について 1

パソコンを安全にお使いいただくために 2

パソコンを使いこなすまで 10

作業の流れをつかんでおこう 12

もくじ 13

1. 同梱品を確認しよう 15

機器類を確認しよう 15

マニュアルや CD-ROM を確認しよう 16

保証書を確認しよう 16

2. 接続しよう 17

置き場所や姿勢について 17

コンセントの位置を確認しよう 18

接続しよう 19

3. 電源を入れよう 20

電源を入れよう 20

使用許諾契約に同意しよう 22

4. 電源を入れ直そう 25

電源を切ろう 25

もう一度、電源を入れよう 26

画面のここから始めよう 27

5. いろいろな使い方をするために 28

屋外などでパソコンを使いたい方は 28

インターネットを始めたい方は 31

ほかの周辺機器を使うときは 34

各部の名前とはたらきを知っておこう 35

6. 再セットアップについて 44

作業の流れ 44



1 準備する	44
2 一括セットアップを行う	47
3 アプリケーションをセットアップする	51

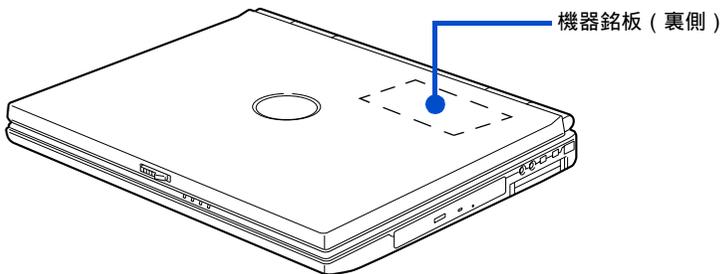
1. 同梱品を確認しよう

箱を開いたら、まず箱の中に入っている接続に必要な次の同梱品がそろっていることを確認しましょう。

万一不足があるときは、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。

機器類を確認しよう

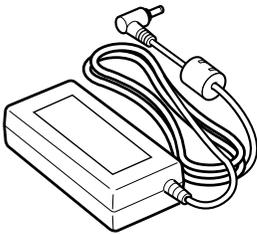
パソコン



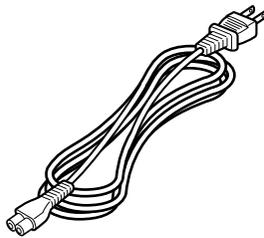
ヒント

機器銘板には、製造番号や製造形名が記載されています。

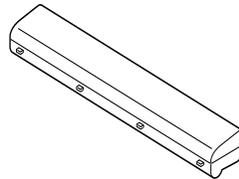
AC アダプター
(PCF-AP6510)



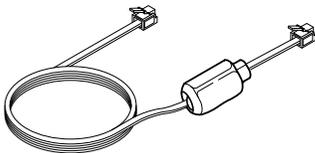
電源コード



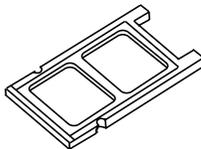
バッテリーパック
(PCF-AB6510)



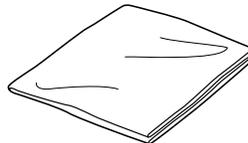
モデムケーブル



ダミー PC カード
(2 個)



OA マルチクロス



ヒント

モデムケーブル、OA マルチクロスは SoftwarePack に入っています。

ダミー PC カードは、PC カードスロットに入っています。

マニュアルや CD-ROM を確認しよう

マニュアル

- ・ 『接続と準備 - 最初に読む本 - 』（本書）
- ・ 『パソコン入門』
- ・ 『始めよう！インターネット』
- ・ 『困った時の Q&A』

CD-ROM・DVD-ROM

- ・ 「再セットアップ DVD」
- ・ 「活用百科」
- ・ 世界大百科 第2版（Pentium モデルのみ）

その他

- ・ Microsoft Office XP Personal のパッケージ
- ・ MotionDV STUDIO のマニュアル

保証書を確認しよう

保証書

保証書は、パソコンの箱にはり付けてあります。大切に保管してください。

ヒント

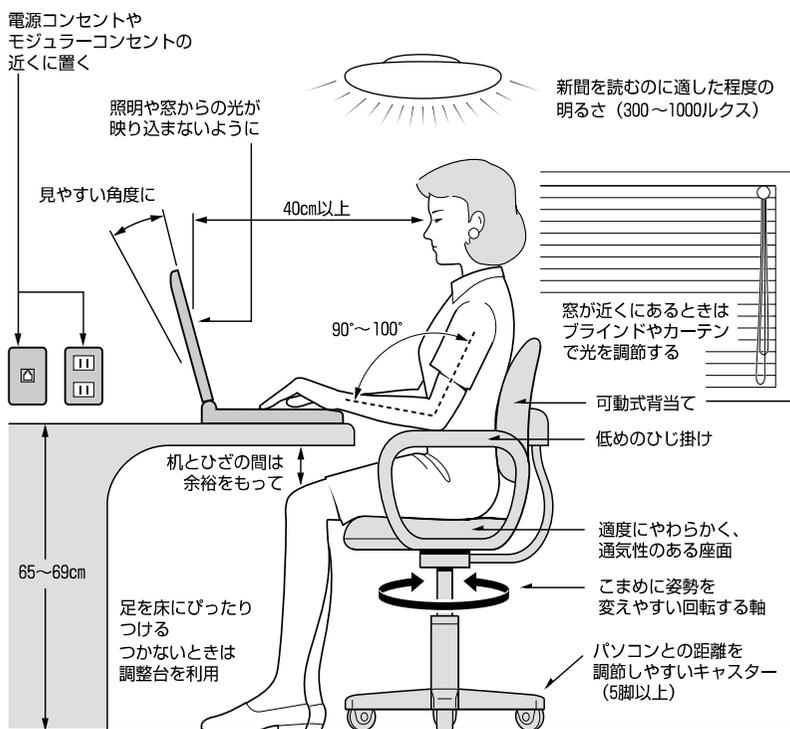
マニュアルや CD-ROM は、SoftwarePack に入っています。
SoftwarePack チェックリストでご確認ください。

2. 接続しよう

パソコンの置き場所を決めてから、ACアダプターとバッテリーパックを接続しましょう。

置き場所や姿勢について

パソコンを使う場所によっては、パソコンに思わぬトラブルを起こす可能性があります。パソコンを正しく使うために、パソコンを使うときに適した場所と姿勢について知っておきましょう。



参照：日本人間工学会 ノートパソコン利用の人間工学ガイドライン (1998年 労働科学研究所発行)

- ・ パソコンのディスプレイは、体の正面に設置し、見やすい角度に調節する。
- ・ ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明を適度に調節し、ディスプレイの反射を抑える。
- ・ 明るさやコントラストなど見やすいように調節する。
- ・ キーボードやマウス、ポインティングパッドを使うときは、手首とひじは水平になるような位置を保つ。
- ・ パソコンの作業時間は、1日に最大6時間を目安とし、1時間ごとに10~15分の休息をとる。
- ・ キーボードは本などで使いやすい角度に調節する。
- ・ 周辺機器を接続しても余裕のある、十分な作業空間を確保する。
- ・ 不自然な姿勢を避け、ときどき姿勢を変える。

用語

ACアダプター
コンセントの交流電源を直流電源に変換してパソコンに供給します。

警告

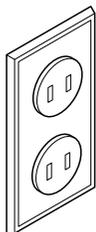
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

注意

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをすおそれがあります。

コンセントの位置を確認しよう

次のコンセント類が、パソコンに設置する場所にあるか、ご確認ください。
コンセント類とパソコンを接続するケーブルが届く位置にパソコンの位置を決めてください。



電源コンセント1個
プリンターなど、周辺機器を接続する場合は、
さらにその個数分必要です

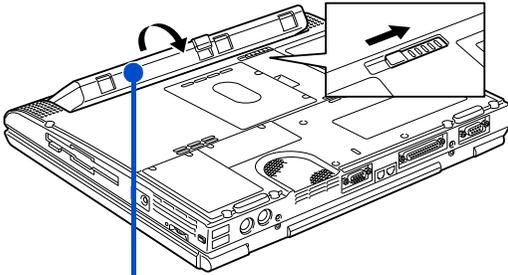


モジュラーコンセント1個
インターネットやメールを使うときに必要です

接続しよう

さっそく接続してみましょう。 から順番に接続してください。

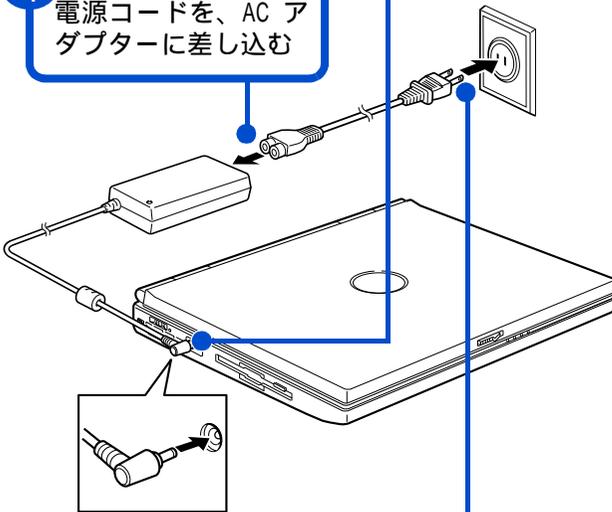
- 1 パソコンを裏返し、バッテリーパックを斜めに差し込む



- 2 バッテリーパックストッパーを ① の側へスライドさせる

- 3 ACアダプターを、パソコンの電源コネクタに差し込む

- 4 電源コードを、ACアダプターに差し込む



- 5 電源コードのプラグを、コンセントに差し込む

ヒント

パソコンは、バッテリーパックを取り付けなくても AC アダプターだけで動かせます。

警告

AC アダプター、バッテリーパックは同梱のものを使用してください。同梱のもの以外を使用すると、電圧、最大出力電流、および + - の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。

警告

同じコンセントに多数の機器を接続しないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。また、電力の使用量がオーバーとなり、ブレーカーが落ちてほかの機器にも影響を及ぼします。

3. 電源を入れよう

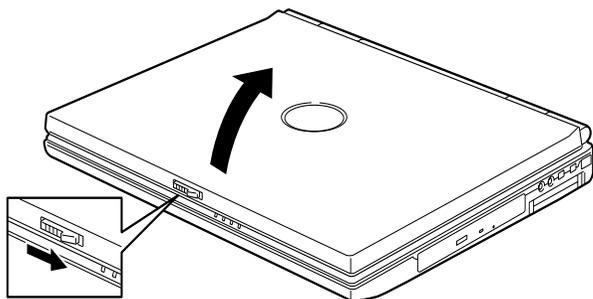
ここまででパソコンの電源を入れる準備ができました。

次に、電源を入れて Windows を使えるようになるまでの操作を説明します。

電源を入れよう

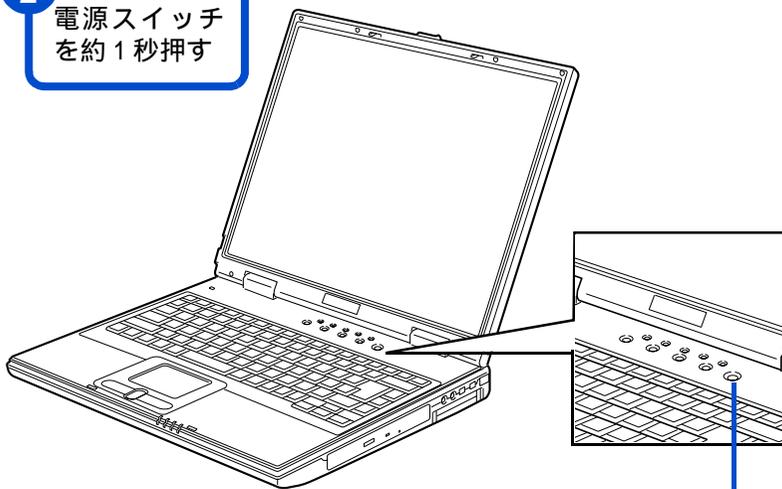
1

ラッチを矢印の方向にスライドさせて、液晶ディスプレイを開く



2

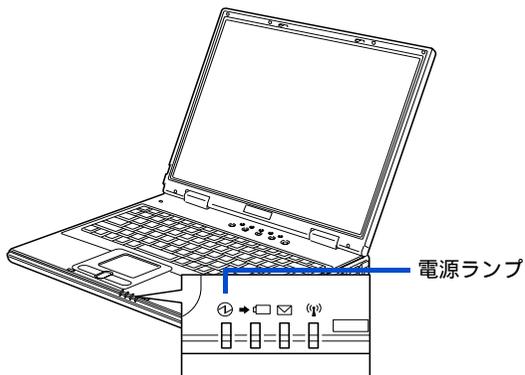
電源スイッチを約1秒押す



電源スイッチ

3

電源ランプが点灯したことを確認する



4

次の画面が表示されるまで待つ

[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。



3

電源を入れよう

ヒント

画面が表示されるときは、音が大きすぎる場合は、スピーカーボリュームのダイヤルを回して調整してください。ダイヤルは、パソコンの前面手前にあります。「5. いろいろな使い方をするために」「各部の名前とはたらきを知っておこう」をご参照ください。

重要

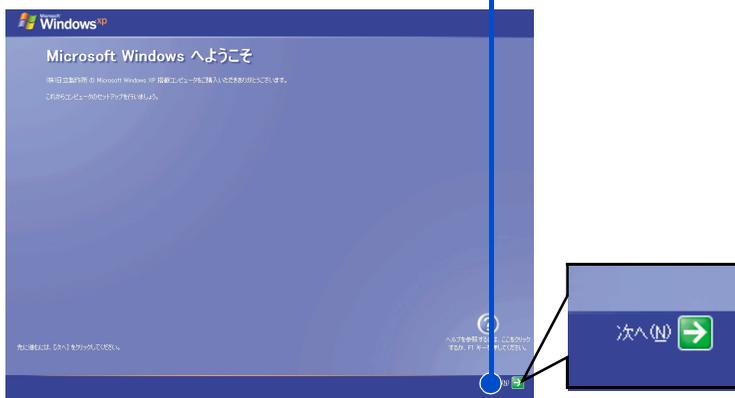
電源スイッチを操作してからこの画面が表示されるまで、液晶ディスプレイを閉じないでください。

使用許諾契約に同意しよう

はじめてパソコンの電源を入れるときは、Windows の使用許諾契約に同意して、Windows を使えるようにする必要があります。この操作は、はじめて電源を入れるときだけに必要です。次に電源を入れるときは必要ありません。

1

ポインティングパッドの上で指をすべらせ、画面上に表示されているマウスを移動させて [次へ] に重ねる



2

左のクリックボタンを 1 回押す
[使用許諾契約] 画面が表示
されます。

左のクリックボタンを 1 回押すことを、
「クリック」といいます。



用語

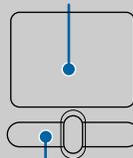
使用許諾契約
ここでは、あらかじめパソコンに入っている Windows を使うための契約のこと。

ヒント

画面上に表示されているマウスを、「マウスポインター」と呼びます。

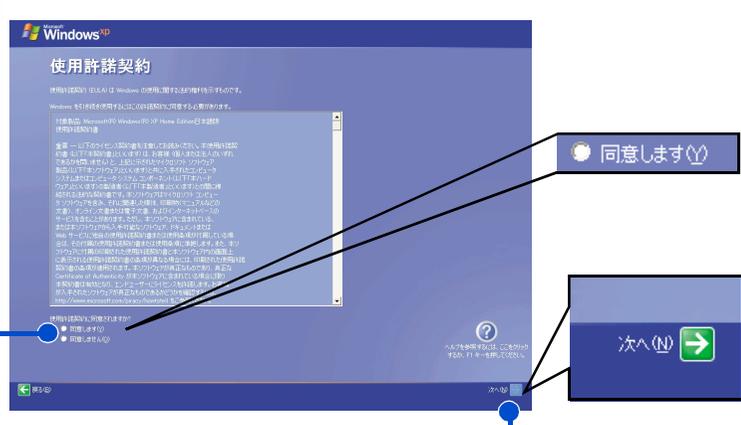
ここでは、パソコンのこの場所を使って操作します。

ポインティングパッド



クリックボタン

3 マウスを移動させて 同意します に重ね、クリック
 同意します が、 同意します になります。



4 マウスを移動させて [次へ] に重ね、クリック
 [コンピュータに名前を付けてください] 画面が表示されます。

5 [このコンピュータの名前] を入力し、必要に応じて [コンピュータの説明] (省略可能) を入力します。
 これらの入力内容はあとで変更できるので、[このコンピュータの名前] はペットに名前を付けるようなつもりで入力します。[コンピュータの説明] は何も入力しないで次へ進みます。



6 マウスを移動させて [次へ] に重ね、クリック
 [このコンピュータを使うユーザを指定してください] 画面が表示されます。

ヒント

操作を間違えたときは、[戻る] にマウスを重ね、左のクリックボタンをクリックします。一つ手前の画面に戻ります。

重要

使用許諾契約は必ずお読みください。

ヒント

入力できる文字には制限があります。画面の指示に従ってください。

[このコンピュータの名前] と [コンピュータの説明] はあとで変更できます。変更の方法については『パソコン入門』「4. コントロールパネルを使おう」をご参照ください。

7

[ユーザー 1] を入力します。

入力内容はあとで変更できるので、[ユーザー 1] は自分にニックネームを付けるつもりで入力します。



8

マウスを移動させて [次へ] > に重ね、クリック
[設定が完了しました] 画面が表示されます。



9

マウスを移動させて [完了] > に重ね、クリック
Windows のデスクトップ画面が表示されます。

2 回目以降は、電源を入れると Windows XP でパソコンが
使えます。[使用許諾契約] 画面や [コンピュータに名前
を付けてください] 画面などは表示されません。

ヒント

[ユーザー 1] に入力した名前は、あとで変更できます。変更の方法については『パソコン入門』「4. コントロールパネルを使う」をご参照ください。

キーボードの入力操作に慣れていない方は『パソコン入門』「日本語を入力しよう」をご参照ください。

日本語を入力するには

日本語を入力する方法は2つあります。使いやすい方法を選んで入力してください。

ローマ字入力

キーの左上のアルファベットを使って、ローマ字読みでひらがなを入力する。

H I T A C H I

と入力すると自動的に「ひたち」となります。

かな入力

かな入力したい場合は、キーボードの **ALT** キーを押しながら **カタカナ** キーを押すと

かな入力ができます。

キー右下、または右上のひらがなを使って入力する。

ひ た ち

と入力すると

「ひたち」となります。

漢字変換

入力したひらがなを漢字に変換するには、キーボードの **SPACE** (スペース) キーを押します。違う漢字が表示されたときは、もう一度 **SPACE** (スペース) キーを押して、漢字の候補一覧の中から該当する漢字を選びます。

「ひたち」 - **常陸** -
日立

選んだ漢字を確定するには、**Enter** キーを押します。

ひらがなのままでよいときは、**SPACE** (スペース) キーを押さずに、そのまま **Enter** キーを押して確定します。

4. 電源を入れ直そう

Windows の使用許諾契約などが終わったら、いったん電源を切ります。電源を切る操作はとても大切です。次に説明する方法で電源を切ってください。そのあと、もう一度電源を入れて、デスクトップ画面が表示されることを確認します。

電源を切ろう

電源は、この操作で切ってください。



1

スタート にマウスを重ね、クリック
スタートメニューが表示されます。



2

終了オプション(O) にマウスを重ね、クリック
[コンピュータの電源を切る] 画面が表示されます。

ヒント

電源スイッチを 4 秒未満押し、手順 1 ~ 3 の操作と同じように電源が正しく切れます。

重要

電源スイッチは、4 秒以上押し続けしないでください。Windows が強制終了されます。この場合、異常終了とみなされ、次回立ち上げ時にチェックプログラムが動くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がります。



3

 にマウスを重ね、クリック

しばらくすると電源が切れ、電源ランプが消えます。

重要

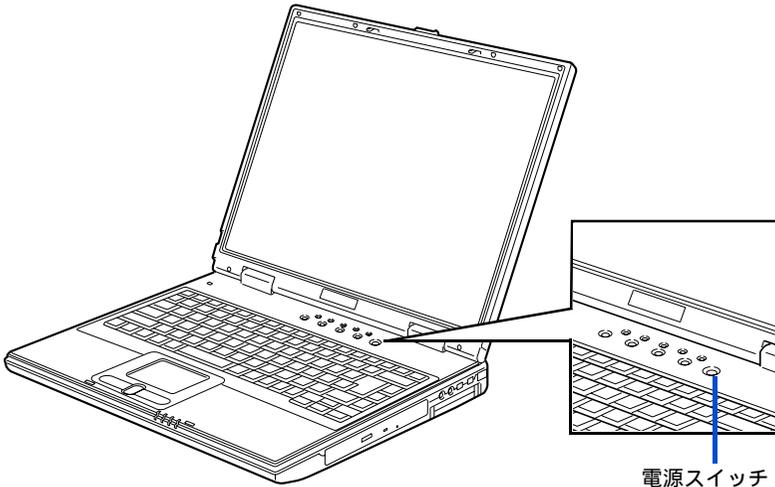
一度電源を切り、再び電源を入れるときは、10秒以上の間隔をあけてください。

もう一度、電源を入れよう

1

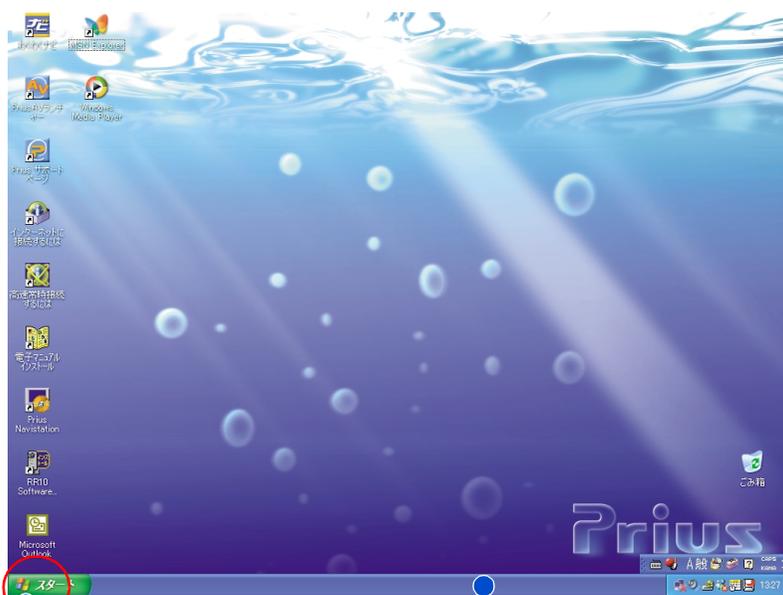
電源スイッチを押す

しばらくして、デスクトップ画面が表示されます。



画面のここから始めよう

Windows は、デスクトップ画面から操作を始めます。ここでは、デスクトップ画面に表示されている、基本的な部分について説明します。



【スタート】ボタン
【スタート】ボタンは、いろいろな操作を始めるときに使います。パソコンの電源を切るときも、【スタート】ボタンから操作を始めます。

タスクバー
タスクバーには、現在使っているアプリケーションの名前などが表示されます。

デスクトップ画面の詳しい使い方については、『パソコン入門』「2. ウィンドウとデスクトップを使おう」をご参照ください。

用語

デスクトップ
作業をするための机のようなもの。作業をすばやく行えるいろいろなものがあります。

用語

アイコン
ファイルの内容やソフトウェアの機能のメニューを、絵文字で表したもの。

ヒント

画面が暗すぎるときは、キーボードの [Fn] キーを押したまま [F6] キーを押してください。[F6] キーを1回押すごとに画面が明るくなります。

画面が明るすぎるときは、キーボードの [Fn] キーを押したまま [F5] キーを押してください。[F5] キーを1回押すごとに画面が暗くなります。

デスクトップ画面は一例です。機種によっては、異なる場合があります。

用語

アプリケーション
パソコンでワープロ作業、表計算、パソコン通信などを実行するプログラムの総称。

5. いろいろな使い方をするために

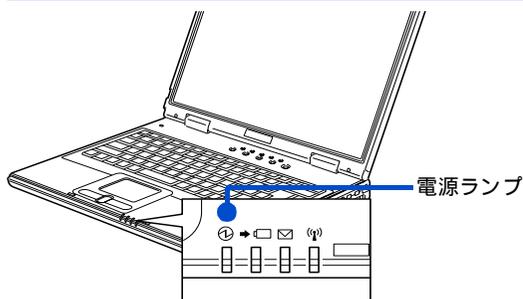
ここでは、バッテリーパックの使い方やインターネットをするための準備など、パソコンのいろいろな使い方やパソコン各部の名前やはたらきについて説明します。

屋外などでパソコンを使いたい方は

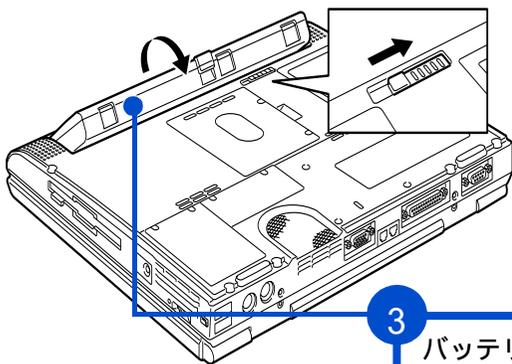
パソコンに充電したバッテリーパックを取り付けると、コンセントがない場所でもパソコンを使うことができます。また、充電したバッテリーパックを取り付けておけば、停電したときにパソコンの電源が切れることなく対応することができます。

バッテリーパックの取り付け方

- 1 液晶ディスプレイを開け、電源ランプが消えていることを確認する



- 2 液晶ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返す



- 3 バッテリーパックを差し込み、バッテリーパックストッパーを ④ の側へスライドさせる。

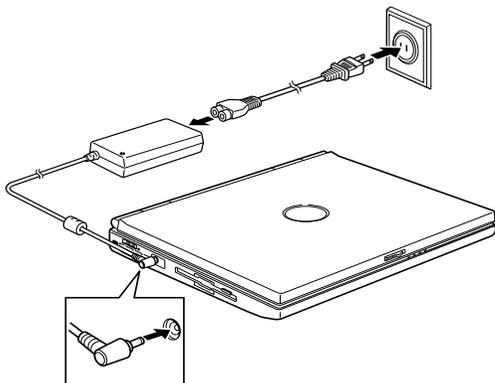
重要

電源ランプが点灯しているときはパソコンの電源が入っています。必ずパソコンの電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してからバッテリーパックを取り付けてください。

バッテリーパックの充電のしかた

1

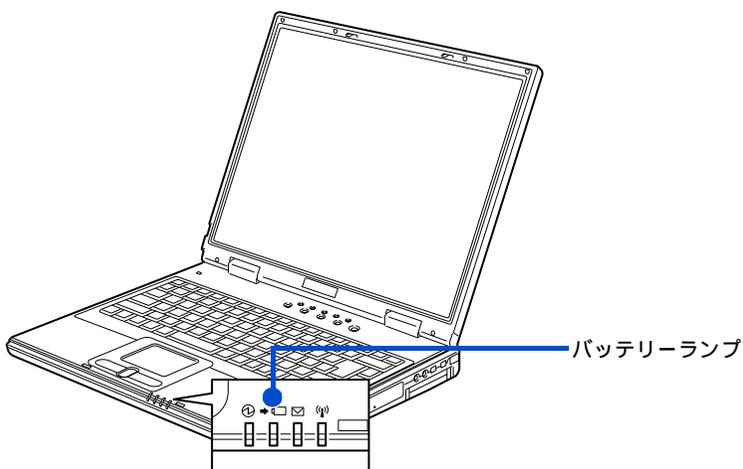
ACアダプターを接続する



2

液晶ディスプレイを開け、バッテリーランプが点灯していることを確認する

充電が始まります。
バッテリーランプが消えたらバッテリーパックの充電は完了です。



⚠ 警告

バッテリーパックは、必ず本パソコンに取り付けて充電してください。ほかの方法では、電圧、充電時間などが異なる場合があり、破裂・発火などの原因になることがあります。

参照

ACアダプターの接続について「2. 接続しよう」

ヒント

充電中でもパソコンを使うことができます。ただし、電源を切っているときに比べて、充電が完了するまでの時間が長くなります。充電時間は、電源を切っているときに、約2.5時間、パソコン使用中で約4時間です。

バッテリーが満充電の状態では、約4.3時間パソコンを使用できます。

参照

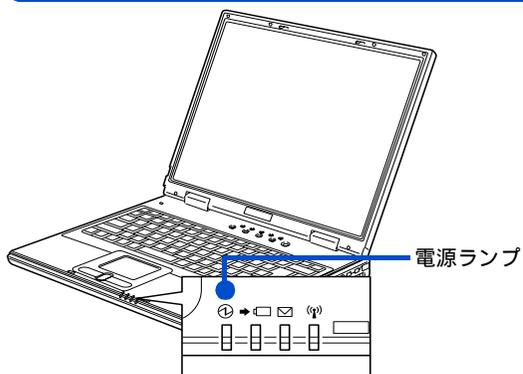
詳しくは 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーの使い方」

5

いろいろな使い方をするために

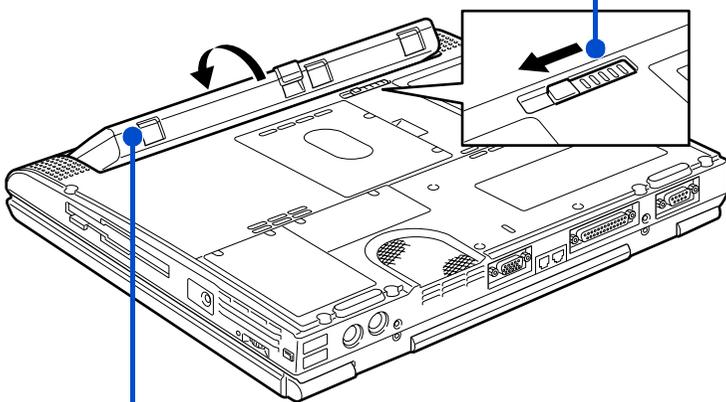
バッテリーパックの取り外し方

- 1 電源ランプが消えていることを確認する



- 2 液晶ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返す

- 3 バッテリーパックストッパーをⒺの側へスライドさせたまま、バッテリーパックを引き起こす



- 4 バッテリーパックを取り外す

重要

電源ランプが点灯または点滅しているときは、パソコンの電源が入っています。必ずパソコンの電源を切って、電源ランプが消えているのを確認してからバッテリーパックを取り外してください。

インターネットを始めたい方は

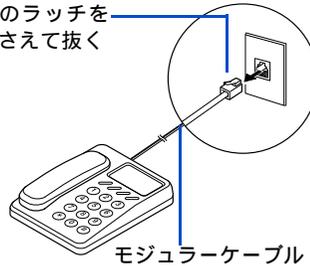
モデムを使う

インターネットを始めるためには、モデムケーブルを接続する必要があります。

1

お使いの電話機につながっているモジュラーケーブルを、モジュラーコンセントから抜く

このラッチを
押さえて抜く

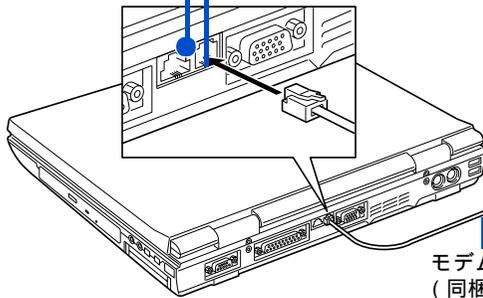


2

同梱のモデムケーブルの片側を、パソコンのモデムインタフェースコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込む

LAN インタフェースコネクタに接続しないように、必ずマーク（凸）を確認して接続してください。

モデムインタフェースコネクタ（凸）



3

モデムケーブルの反対側を、モジュラーコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込む

モジュラー
コンセント

モデムケーブル
（同梱）

警告

雷が鳴っているときは、パソコンの使用、電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

注意

モデムケーブルは、同梱のものを使って、2線式のアナログ電話回線に接続してください。それ以外に接続すると、故障するおそれがあります。

ヒント

接続する前に、お使いになっている電話機の種類をご確認ください。お使いになっている電話機がホームテレホンやビジネスフォン（内線）の場合、接続しても正常にインターネットをすることができません。この場合は、NTTにご相談ください。

モジュラーコンセントの形状が図ようになっていない場合は、モジュラーコンセントを変更する必要があります。詳しくは、NTTにご相談ください。

モジュラーコンセントにモデムケーブルとパソコンを接続しているときは、電話機を使うことができません。電話機を使うときは、モジュラーコンセントからモデムケーブルとパソコンを取り外し、電話機を取り付ける必要があります。

重要

モジュラーケーブルには脱落防止のラッチが付いています。モジュラーケーブルを取り外すときは、ラッチを押さえながらモジュラーコンセントから引き抜いてください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、モジュラーケーブルが断線したり、モジュラーコンセントを破損するなどのおそれがあります。

インターネットを始めるためには、ほかにも必要な手続きが残っています。詳しいインターネットの始め方については、『始めよう！インターネット』をご参照ください。

5

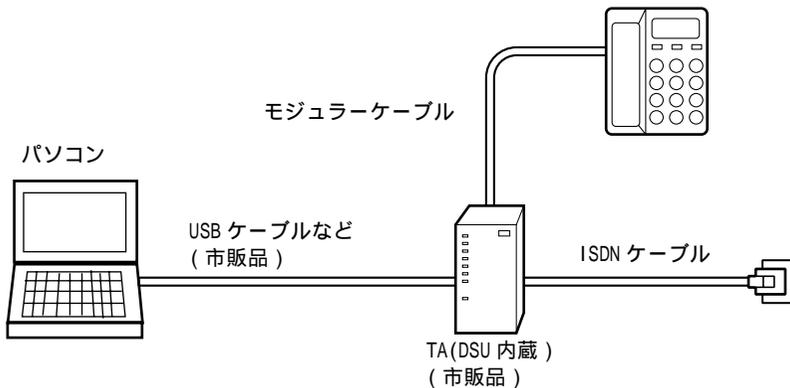
いろいろな使い方をするために

モデム以外の通信機器を使う

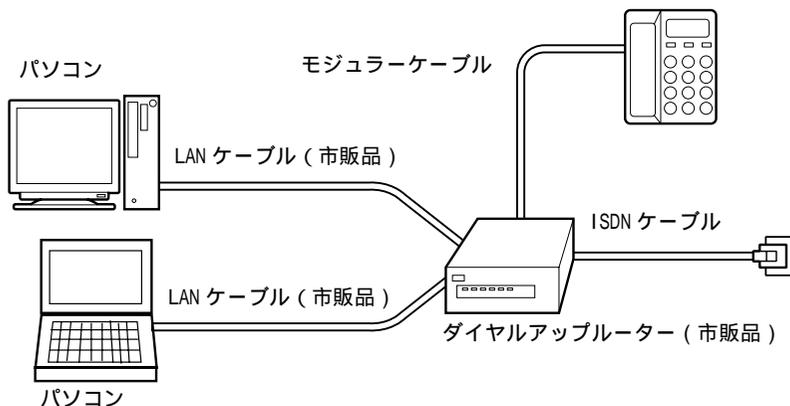
ISDN 回線や ADSL 回線を使ってインターネットをすることもできます。ここでは、モデム以外の通信機器を使ってインターネットをするときの接続例を紹介します。

ISDN を使う

ISDN 回線を使ってインターネットを楽しむことができます。ISDN 回線を使うと、データの送受信が高速になり、インターネットをより快適に楽しむことができます。さらに、1 本の電話回線で 2 本の伝送路を確保できるので、インターネットをしながら電話や FAX を使うことができます。パソコンが 1 台のときはターミナルアダプタ (以下、TA) を使います。



複数のパソコンで ISDN 回線を同時に使う場合は、TA の代わりにダイヤルアップルーターを使います。



用語

ターミナル・アダプター (TA)
ISDN 回線を利用するための通信装置。

用語

DSU
ISDN 回線に接続するための端末装置。

重要

ISDN について NTT (電話番号 116) にお問い合わせください。

TA と各ケーブルの購入について パソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。

参照

接続について TA のマニュアルをご覧ください。または、ご購入先にお問い合わせください。

ダイヤルアップルーターと各ケーブルの購入について パソコン周辺機器の販売店でお買い求めください。

接続について ダイヤルアップルーターのマニュアルをご覧ください。または、ご購入先にお問い合わせください。

ヒント

ダイヤルアップルーターを使う場合や、ADSL、CATV インターネットを利用する場合は、LAN の設定が必要です。詳しくは、プロバイダーや CATV 局から送付された資料をご参照ください。LAN の一般的な設定は『始めよう！インターネット』でも紹介しています。

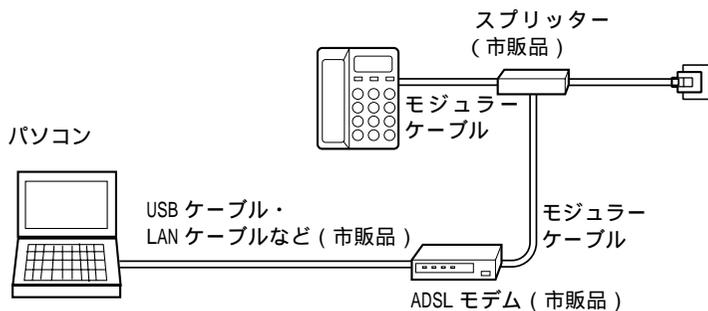
参照

LAN の設定 『始めよう！インターネット』1 章の「LAN でインターネットに接続する」

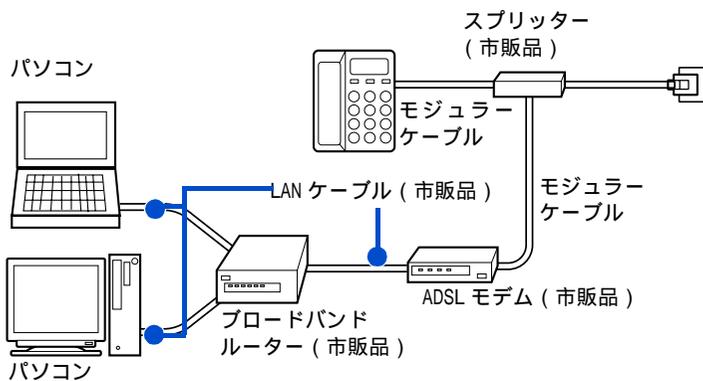
ADSL を使う

インターネットをより快適に楽しむために、ADSL 回線を使うこともできます。ADSL 回線では、ISDN 回線と比べてデータの送受信が高速になります。24 時間インターネットに接続したままでも、電話代はかかりません。接続料金だけの支払いになります。また、契約内容により、インターネットをしながら電話や FAX を使うことができます。

ADSL 回線では ADSL モデムを使います。ADSL モデムの購入方法については、NTT(電話番号 116) または各 ADSL 回線業者にお問い合わせください。



複数のパソコンで ADSL 回線を同時に使う場合は、ADSL モデムとブロードバンドルーターを使います。



用語

ADSL

従来の電話回線を使い音声電話に使用しない高い周波数を利用することで、高速なデータ転送を可能にしたデジタル技術 (xDSL) の 1 つ。インターネットへの接続には専用の ADSL モデムを使用する。

重要

ADSL と ADSL モデムの購入について NTT(電話番号 116) または各 ADSL 回線業者にお問い合わせください。

各ケーブルの購入についてパソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。

参照

接続について ADSL モデムのマニュアルをご覧ください。または、ご購入先にお問い合わせください。

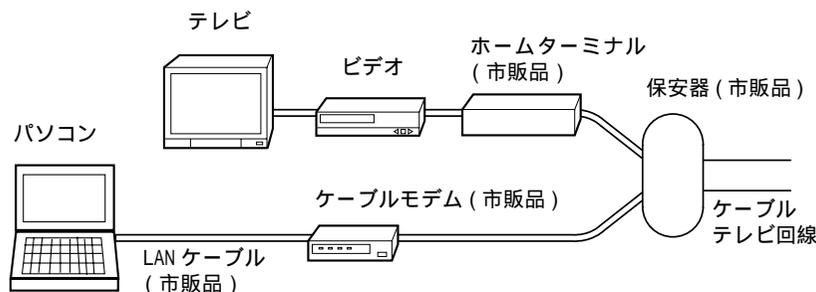
参照

- ・ブロードバンドルーターと各ケーブルの購入についてパソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。
- ・接続についてブロードバンドルーターのマニュアルをご覧ください。または、ご購入先にお問い合わせください。

CATV を使う

ケーブルテレビの回線を電話回線の代わりに使ってインターネットすることもできます。このことを、ケーブルテレビインターネットなどといいます。

ケーブルテレビインターネットの場合、電話回線よりデータの送受信が高速になります。インターネットをより快適に楽しむことができます。さらに、ケーブルテレビの回線を使うので、24 時間インターネットに接続したままでも電話代はかかりません。接続料金だけの支払いになります。



重要

ケーブルテレビインターネットとケーブルモデムについて 地元のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

各ケーブルの購入について パソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。

参照

接続について ケーブルモデムのマニュアルをご覧ください。または、ご契約のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

ヒント

次のプリンタードライバーはインストールされています。プリンターを接続すれば、使用できます。

一括セットアップしたときには、これらのドライバーはインストールされません。プリンターに付属のドライバーなどをインストールしてください。

- ・ EPSON
(CL-750、PM-730C、PM-830C、PM-890C、PM-950C)
- ・ CANON
(BJ S630、BJ F900、BJ F890、BJ S700、BJ S500、BJ S300、BJ S200)

ほかの周辺機器を使うときは

ほかの周辺機器を使うときは、電子マニュアル『パソコン応用』を参照して接続してください。設定などの詳しい説明は、周辺機器のマニュアルをご参照ください。

プリンターの接続について

電子マニュアル『パソコン応用』3章の「プリンターを接続する」

ヘッドホン、マイクの接続について

電子マニュアル『パソコン応用』3章の「ヘッドホン、マイクを接続する」

i.LINK に対応した機器の接続について

電子マニュアル『パソコン応用』3章の「i.LINK 機器を接続する」

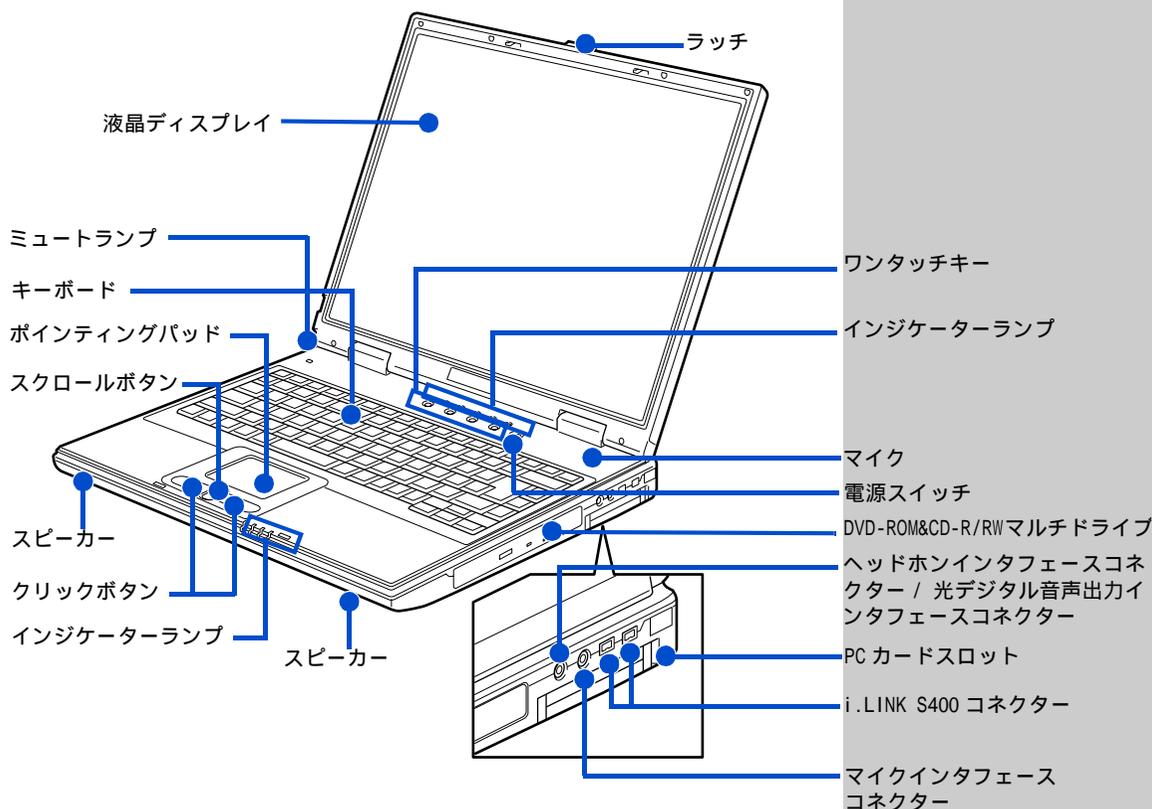
USB に対応した機器の接続について

電子マニュアル『パソコン応用』3章の「USB 機器を接続する」

上記以外の周辺機器の接続について

電子マニュアル『パソコン応用』3章の「その他の周辺機器を取り付ける」

各部の名前とはたらきを知っておこう

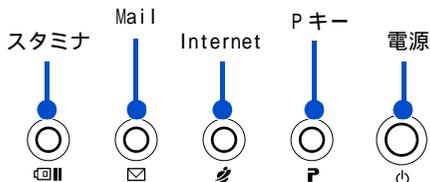


ラッチ

右にスライドして、液晶ディスプレイを開きます。

ワンタッチキー

ボタンを押すだけでインターネットやメールができるボタンです。



- ・ スタミナキー
消費電力を節約できます。もう一度押すと解除できます。
- ・ Mail キー
インターネットメールを送受信するためアプリケーション「Outlook (アウトルック)」を立ち上げます。
- ・ Internet キー
インターネットに接続してホームページを見るためのアプリケーション「Internet Explorer(インターネットエクスプローラ)」を立ち上げます。

参照

「アウトルック」について 『始めよう！インターネット』の3章「メールを使ってみよう」

「インターネットエクスプローラ」について 『始めよう！インターネット』の2章「ホームページを見てみよう」

P キー設定変更について 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」

・ P キー

あらかじめ設定したアプリケーションが立ち上がります。

インジケータランプ

ランプの光り方で、パソコンの状態やメールが着信したかがわかります。

マイク

外部マイクを使わないときは、ここにある内蔵マイクを利用できます。

電源スイッチ

パソコンの電源を入れます。

DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ

CD-ROM や DVD-ROM を読み込むことができます。また、専用のアプリケーションとディスク (CD-R、CD-RW) を使うと、データを書き込むことができます。

ヘッドホンインタフェースコネクター

パソコンで再生している音をヘッドホンで聞くとときは、このコネクターにヘッドホンを接続します。光デジタル音声出力インタフェースコネクターと兼用です。

光デジタル音声出力インタフェースコネクター

このコネクターには、MD レコーダーやドルビーサウンドシステムなどの光デジタル音声入力をもった機器を接続できます。ヘッドホンインタフェースコネクターと兼用です。

PC カードスロット

PC カードを差し込むと、PC カードの拡張機能を使うことができます。TYPE の PC カードで 2 枚、TYPE の PC カードで 1 枚入ります。

i.LINK S400 インタフェースコネクター (4 ピン)

i.LINK 機器を使うときは、このコネクターに接続します。

マイクインタフェースコネクター

外部マイクを使うときは、このコネクターに接続します。

スピーカー

パソコンの音が出力されます。

クリックボタン

ボタンを押すと、画面に表示されるボタンなどを押したりすることができます。主に左のボタンを使います。

スクロールボタン

画面をスクロールできます。

参照

インジケータランプの見方について
「5. いろいろな使い方をするために」「各部の名前とはたらきを知っておこう」「インジケータランプの見方」

参照

消費電力の節約について 電子マニュアル『パソコン応用』の 2 章「消費電力を節約する」

参照

使用できるディスクの種類 電子マニュアル『パソコン応用』7 章の「周辺機器の仕様」「ドライブの仕様」

参照

PC カードの取り付け / 取り外しについて 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「PC カードを使う」

参照

i.LINK 機器の接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「i.LINK 機器を接続する」

参照

マイクやオーディオ機器の接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「ヘッドホン、マイクを接続する」

参照

クリックボタン、スクロールボタン、ポインティングパッドの使い方について 『パソコン入門』1 の「ポインティングパッドを使う」

ポインティングパッド

上に指を置いてすべらせると、画面に表示される矢印マーク（マウスポインター）を動かすことができます。

キーボード

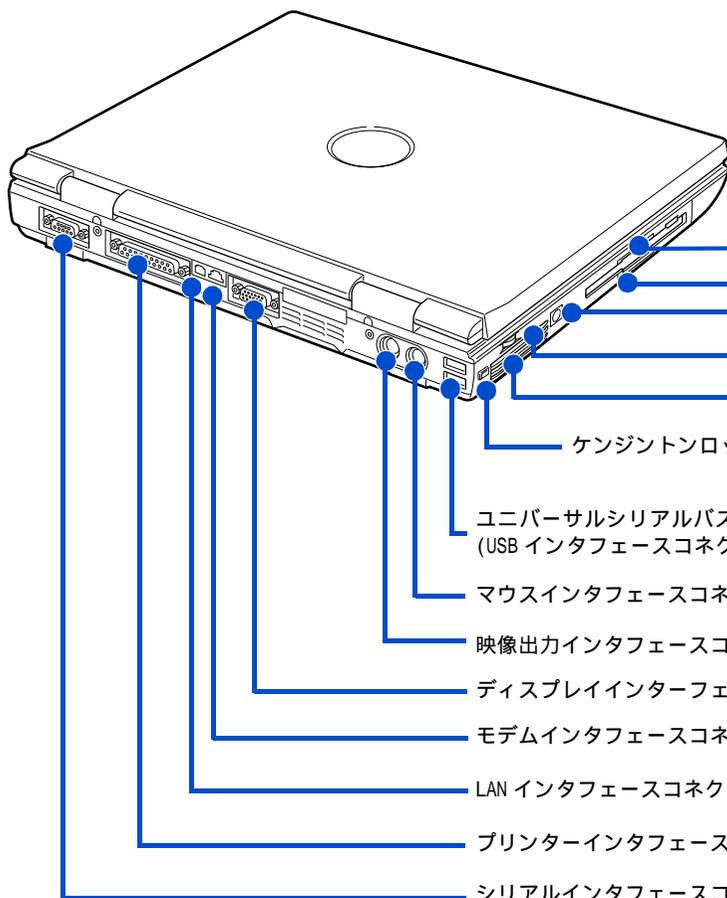
文字などを入力します。

ミュートランプ

スピーカーボリュームを押して音を消しているときに点灯します。

液晶ディスプレイ

画面を表示します。



フロッピーディスクドライブ
 フロッピーディスクランプ
 電源コネクター
 リセットスイッチ
 スピーカーボリューム

ケンジントンロック

ユニバーサルシリアルバスコネクター
 (USB インタフェースコネクター)

マウスインタフェースコネクター

映像出力インタフェースコネクター (S 端子)

ディスプレイインターフェースコネクター

モデムインタフェースコネクター

LAN インタフェースコネクター

プリンターインタフェースコネクター

シリアルインタフェースコネクター

用語

フロッピーディスク
 データを保存するもの。

参照

フロッピーディスクの使い方について 『パソコン入門』1の「使えるディスク」

参照

バッテリーパックの充電について
 「5. いろいろな使い方をするために」「屋外などでパソコンを使いたい方は」「バッテリーパックの充電のしかた」

節電機能について 電子マニュアル『パソコン応用』2章の「節電機能とは」

スピーカー音量の調整について 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「音量を調整する」

参照

USB に対応した周辺機器の接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「USB 機器を接続する」

フロッピーディスクドライブ
 フロッピーディスクのデータを読み書きするときに使います。

フロッピーディスクランプ
 フロッピーディスクのデータを読み書きするときに点灯します。

電源コネクター
 AC アダプターを接続します。

リセットスイッチ
 パソコンがハングアップし、[Ctrl]+[Alt]+[Del] キーを押しても反応しなくなったときに使います。細いピンなどを差し込むとパソコンが立ち上げ直されます。
 これ以外では、押さないでください。

スピーカーボリューム
 ダイヤルを操作すると、スピーカーの音量を調整できます。ダイヤルを押すと、音が消え、ミュートランプが点灯します。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

ケンジントンロック

パソコンの盗難を防ぐためのワイヤーなどを取り付けられます。

ユニバーサルシリアルバスインタフェースコネクター (USB インタフェースコネクター)

ユニバーサルシリアルバス (USB) に対応した周辺機器を使うときは、このコネクターに接続します。コネクターは2個あります。

マウスインタフェースコネクター

PS/2 マウスを使うときは、このコネクターに接続します。

映像出力インタフェースコネクター (S 端子)

パソコンの画面を家庭用テレビで見るときは、このコネクターに接続します。

ディスプレイインタフェースコネクター (ミニ D-Sub15 ピン)

パソコンの画面を外部のディスプレイで見るときは、このコネクターに接続します。

モデムインタフェースコネクター

インターネットを始めるときは、このコネクターとモジュラーコンセントをモデムケーブルで接続します。

LAN インタフェースコネクター

ネットワークに接続するときは、このコネクターに LAN ケーブルを接続します。使用するには、設定が必要です。

プリンターインタフェースコネクター

プリンターを使うときは、このコネクターに接続します。

シリアルインタフェースコネクター

シリアルインタフェースに対応した周辺機器 (ターミナルアダプター (TA) など) を使うときは、このコネクターに接続します。

参照

家庭用テレビの接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「家庭用テレビを接続する」

外部ディスプレイの接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「ディスプレイを接続する」

参照

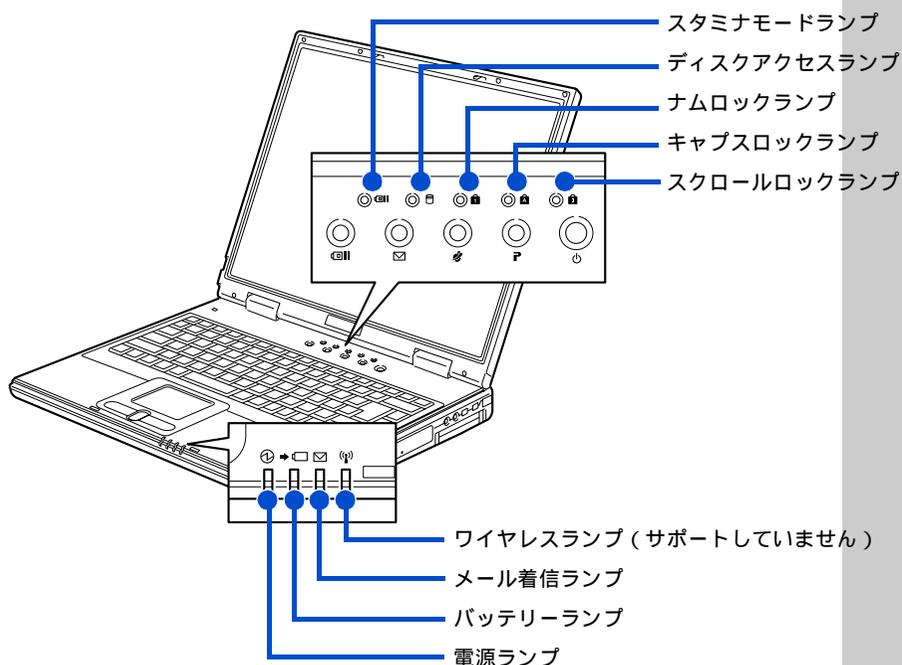
モデムケーブルの接続について 「5. いろいろな使い方をするために」 「インターネットを始めたい方は」

LAN ケーブル接続と設定について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「LAN を接続する」

参照

プリンターの接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「プリンターを接続する」

インジケータランプの見方



電源ランプ

点灯 : パソコンの電源が入っています。

点滅 : 節電機能が働いています。

バッテリーランプ

点灯 : バッテリーパックの充電中です。

点滅 バッテリーパックの残り容量が10%以下になっています。バッテリーパックを取り付けて動作させているときは、バッテリーパックを早めに充電してください。

メール着信ランプ

点灯 : 使用できるように設定すると、メールが着信したときに点灯します。

スタミナモードランプ

点灯 : 画面の明るさを下げ、パソコンのパフォーマンスを落として、消費電力を節約しています。

参照

メール着信ランプの設定について
電子マニュアル『パソコン応用』1
章の「メール着信ランプを使う」

ディスクアクセスランプ

点滅 : ハードディスクドライブ (HDD) や DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブがデータの読み書きをしています。

ナムロックランプ

点灯 : キーボードの水色の数字が入力できます。

キャップスロックランプ

点灯 : 大文字のアルファベットが入力できます。

スクロールロックランプ

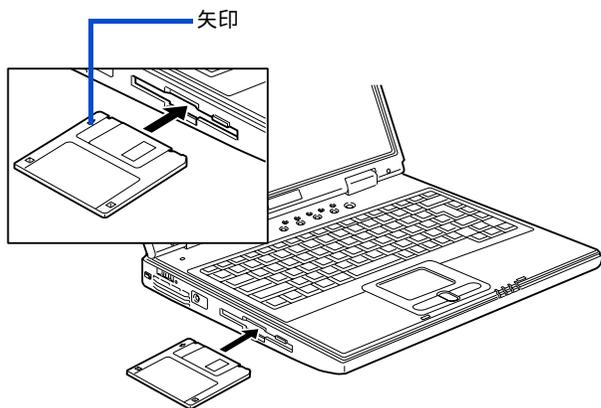
点灯 : アプリケーションによっては画面がスクロールしなくなります。

参照

キャップスロック、ナムロックについて 『パソコン入門』1の「キーボードを使う」

フロッピーディスクの入れ方

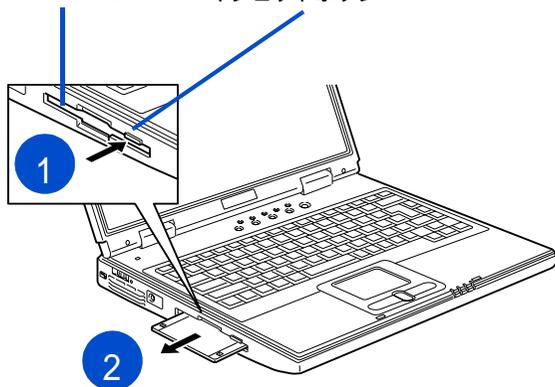
フロッピーディスク (以下、FD) のラベルをはる面を表にする。
FD の矢印の方向をパソコンに向け、カチッと音がするまでフロッピーディスクドライブ (以下、FDD) に入れる。



フロッピーディスクの取り出し方

フロッピーディスクランプが点灯していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。
FD が出てくるので、FDD から取り出す。

フロッピーディスクランプ イジェクトボタン



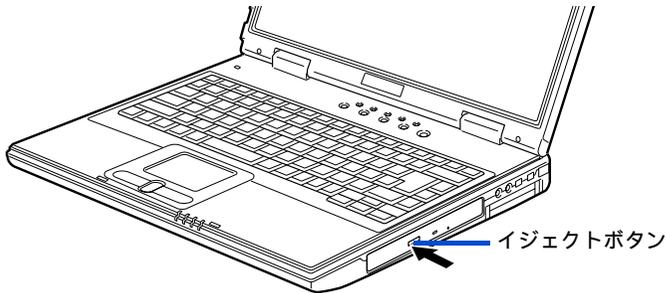
重要

フロッピーディスクランプの点灯、点滅中に FD を出し入れすると、FDD または FD が壊れることがあります。

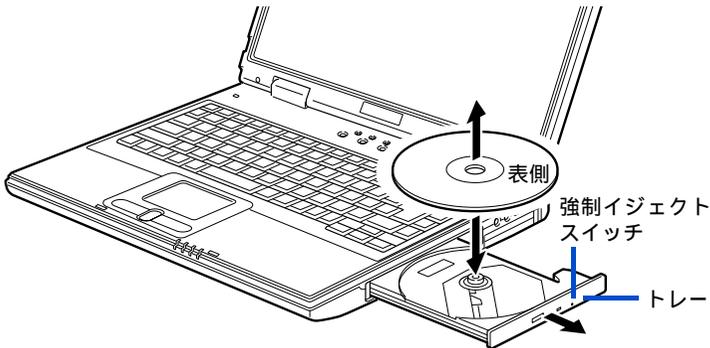
パソコンの電源を切るときは、FD を取り出してからにしてください。FD を入れたまま電源を切ると、FD が壊れることがあります。また、FD を入れたまま、電源を入れると、パソコンが立ち上がらないことがあります。

CD-ROM の入れ方 / 取り出し方

ディスクアクセスランプが点灯していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。



少しだけトレーが出てくるので手で引き出し、ディスクの文字などが書かれている面（表側）を上に向け、カチッと音がするまでトレーに入れる。または取り出す。



カチッとロックするまでトレーを押して閉める。

重要

割れたり、変形したディスクは入れないでください。故障の原因になります。

トレーを出し入れするときは、無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブが壊れることがあります。また、ディスクの出し入れをする以外は、トレーを引き出さないでください。

イジェクトボタンを押してもトレーが出ないときは、強制イジェクトスイッチに細いピンなどを差し込んで取り出してください。これ以外では、強制イジェクトスイッチは押さないでください。

強制イジェクトスイッチを使うときは、ドライブ内部に異物が入らないようにしてください。トレーにはピックアップ部などの精密部があるために、通常の出し入れの際にも異物が入らないように注意が必要です。

ディスクアクセスランプ点灯、点滅中にディスクを出し入れするとディスクが壊れることがあります。

5

いろいろな使い方をするために

6. 再セットアップについて

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻すまでのセットアップ方法について説明します。パソコンの使用中にエラーが何回も発生したり、パソコンが立ち上がらないときも、セットアップし直してください。

作業の流れ

パソコンをご購入時の状態に戻すまでの作業の流れは次の通りです。

1 準備する

セットアップする前に必要なファイルのバックアップをとります。インターネットやメールなどの設定も控えておきます。

2 一括セットアップを行う

アプリケーションを除いて、パソコンをご購入時の状態に戻します。

3 アプリケーションをセットアップする

一括セットアップで元に戻らないアプリケーションをセットアップします。

4 キーボードのワンタッチキーを設定する

ワンタッチキーの設定をご購入時の状態に戻します。

1 準備する

次の準備を行ってください。

必要なファイルをバックアップする

ご購入時の状態に戻すと、ご購入後に作成したファイルや、追加したアプリケーションなどが削除されます。CD-R や CD-RW などのディスクに必要なファイルをコピーしてバックアップを行ってください。

バックアップしたファイルを戻せるように元のフォルダー名など保存先も控えてください。

参照

詳細について 「1. 準備する」

参照

詳細について 「2. 一括セットアップを行う」

参照

詳細について 「3. アプリケーションをセットアップする」

参照

詳細について 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」

参照

コピーの方法について 『パソコン入門』の「3. ファイルを使おう」

インターネットの設定を控える

ご購入時の状態に戻したあと、加入しているプロバイダーに再び接続できるように、ユーザー名、パスワード、アカウント名など、インターネットの設定に必要な情報をメモしてください。通常は、契約時にプロバイダーから送付された書類にこれらの情報が記載されています。その場合は必要ありません。

PC カードを取り外す

PC カードは、取り外してください。

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す（初期化する）ことで解決できる問題もあります。購入時の状態から設定を変更している場合は、設定内容をあらかじめ控えておき、BIOS を初期化したあとに設定し直してください。

1 パソコンの電源を入れる。

パソコンの立ち上げ中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[F2] キーを押す。

BIOS メニューの [Main] 画面が表示される。

ヒント

BIOS の設定を初期化しても内蔵タイマーの日付と時刻は変更されません。

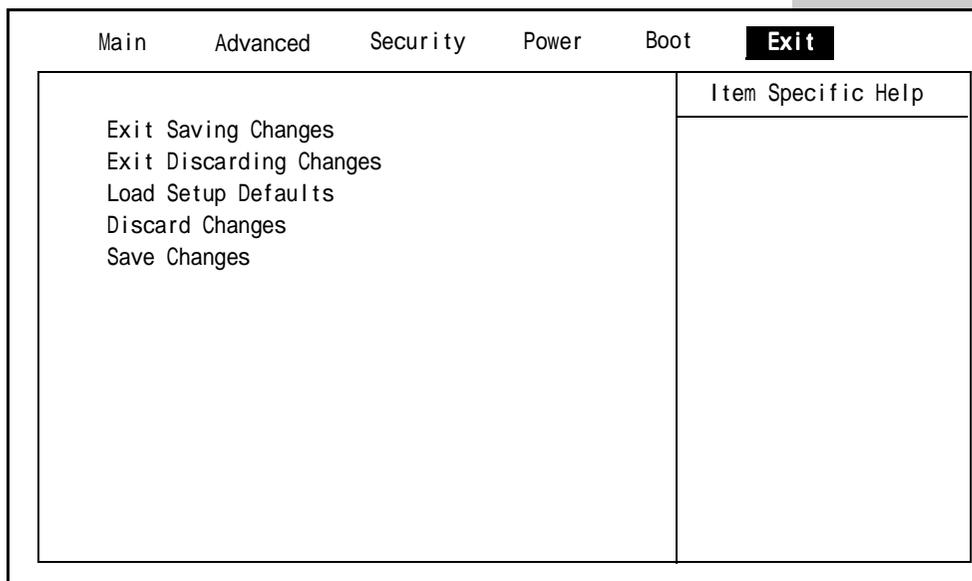
PC カードを取り付けているときは、取り付けた PC カードをパソコンから取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

参照

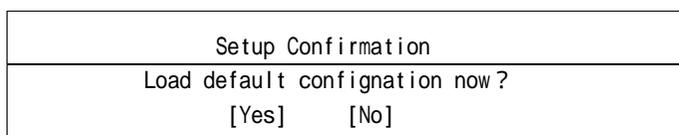
PCカードの取り外しについて 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「PC カードを使う」

2 BIOS メニューの [Main] 画面で [Esc] キーを押す。

[Exit] 画面が表示される。



3 [Load Setup Defaults] を選び、[Enter] キーを押す。



4 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

BIOS Utility の画面に戻る。

5 [Exit Saving Changes] を選び、[Enter] キーを押す。

設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

6 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

設定した内容が保存され、セットアップメニューが終了し、パソコンが立ち上げ直される。

必要なディスクを用意する

パソコンに付属の、次のディスクを使用します。

- ・『再セットアップ DVD Disc1』
- ・『Microsoft Office XP Personal』の CD
- ・『世界大百科事典 第2版』の CD(Pentium モデルのみ)

2 一括セットアップを行う

この作業を行うと、アプリケーションを除いてパソコンの HDD をご購入時の状態に戻します。さらに、システムパーティションのサイズを変更したり、システムパーティションのみご購入時の状態に戻すこともできます。

- 1 パソコンの電源を入れ、すぐに『再セットアップ DVD Disc1』を DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。

メニューが立ち上がる。

```
*****
**
** 一括インストールを行います
**
** この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いて
** パソコンのハードディスクをご購入時の状態に戻します。
** さらに、ドライブ C のサイズを変更したり、
** ドライブ C のみご購入時の状態に戻すこともできます。
**
** 続行するとハードディスクの内容が一部消去されます。
** 必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して
** 先にバックアップを取ってください。
**
*****
: (1) 一括インストールを行う :
+-----+
: (2) 一括インストールを中断する :
+-----+
                選択 (1/2)?:
```

2 [1] キーを押す。

次のメッセージが表示される。

```
*****
**
** 一括インストールを行います。
**
** 一括インストールの方法を選択してください
**
*****
: (1) ハードディスクを初期化した後、一括インストールする      :
:   - ハードディスクのデータはすべて削除されます。           :
:   - 新たにドライブ C の容量を設定できます。                 :
+-----+
: (2) 現在のドライブ C だけを一括インストールする                :
:   - 現在のドライブ C の内容は消去されます                     :
:   - ドライブ C 以外のドライブは消去されません。             :
:   - ドライブ C の容量は変更できません。                     :
+-----+
: (3) 一括インストールを中断する                                  :
+-----+
                        選択 (1/2/3)?:
```

- (1) を選ぶと、OS をドライブ C に回復する。ドライブ C 以外のドライブも初期化される。
- (2) を選ぶと、OS をドライブ C に回復する。ドライブ C 以外のドライブは初期化されない。ドライブ C のサイズは変更できない。
- (3) を選ぶと OS のセットアップを中止する。

3 [1] または [2] キーを押す。(1) を選んだ場合は、次の画面が現れる。(2) を選んだ場合は、手順 7 に進む。

```
*****
**
** 新規にドライブ C をハードディスクに作成した後
** 一括インストールを行います。
**
** <警告>
** 続行するとハードディスクの内容はすべて消去されます。
** 必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して
** 先にバックアップを取ってください。
**
** 一括インストールを続行しますか？
**
*****
: (1) 続行                                                         :
:   - ハードディスクを初期化し、一括インストールを行います。   :
+-----+
: (2) 一括インストールを中断する                                  :
+-----+
                        選択 (1/2)?:
```

(1) を選ぶと、ハードディスクの初期化を行ったあと、新規に作成するドライブ C のサイズ変更画面へ進む。

(2) を選ぶと、セットアップを中止する。

重要

(1) の選択後ハードディスクの内容はすべて消去されます。必要なデータなどがある場合はセットアップを中止して先にバックアップを取ってください。

(1) の選択後はセットアップを中止できません。

4 [1] キーを押す。

ドライブ C のサイズ変更画面が表示される。

```

*****
**
**   ハードディスクに新規に作成するドライブ C のサイズを
**   指定します。
**
**   設定可能なドライブ C のサイズの範囲は
**   最小値：XXXXXXXXX MB
**   最大値：XXXXXXXXX MB
**   です。
**
**   設定可能なサイズの範囲内でドライブ C のサイズを入力した後、
**   Enter キーを押してください ( サイズの単位は MB )。
**   サイズを入力しないで Enter キーを押すと
**   デフォルト値：XXXXXXXXX MB
**   で新規にドライブ C を作成します。
**
*****
ドライブ C のサイズを入力してください：

```

5 新規に作成するパーティションのサイズを入力する。

サイズを変更する場合は、設定範囲内でサイズを入力したあと、[Enter] キーを押す。

デフォルト値のサイズを使用する場合はそのまま [Enter] キーを押す。

次のメッセージが画面下に表示される。

```

指定されたドライブ C のサイズ XXXXXXXXXXX MB
これでよろしいですか？ ( Y = はい / N = いいえ ) :

```

ヒント

ドライブ C のサイズをご購入時の状態に戻すには、最大値を入力してください。

6 指定したシステムパーティションサイズに問題がなければ [Y] キーを押して手順 8 に進む。

[N] キーを押すと手順 4 に戻る。

7 手順3で(2)を選んだ場合は、次の画面が表示されるので、[1] キーを押して次に進む。

```
*****
* *
* *   現在のドライブ C に一括インストールを行います。
* *
* * < 警告 >
* *   続行するとドライブ C の内容はすべて消去されます。
* *   必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して
* *   先にバックアップを取ってください。
* *
* *   現在のドライブ C に対して一括インストールを行いますか？
* *
*****
: (1) 現在のドライブ C に一括インストールする           :
:   ドライブ C のみを初期化し、一括インストールを行います。 :
+-----+
: (2) 一括インストールを中断する                         :
+-----+
                               選択 (1/2)?:
```

- (1) を選ぶと、既存のドライブ C に OS をセットアップする。
ドライブ C 以外のドライブは初期化されない。
- (2) を選ぶと、OS のセットアップを中止する。

重要

使用環境によっては、手順2の(2)の選択後に上記の画面が表示されない場合があります。この場合 [1] キーを押すと手順2で [1] キーを選択したときと同様にドライブC以外のパーティションも初期化します。上記の画面が表示されない場合は、画面の指示に従って [2] キーを押して回復作業を中断するか、[1] キーを押して手順3へ進んでください。

8 OS の回復作業終了画面が表示されたら、パソコンから DVD-ROM を取り出し、パソコンを立ち上げ直す。

```
*****
* *
* * Microsoft (R) Windows (R) XP Home Edition
* *
* *   一括インストールは正常に終了しました。
* *
* *   パソコンから DVD - ROM を抜いた後、
* *   CTRL+ALT+DEL キーを同時に押してパソコンを再起動して
* *   ください。
* *
*****
```

9 以降、Windows XP のセットアップ手順に従って、Windows 環境をセットアップする。

参照

詳細について 「3. 電源を入れよう」「使用許諾契約に同意しよう」

3 アプリケーションをセットアップする

一括セットアップで、元に戻らないアプリケーションを Windows からセットアップします。HDD イメージと『再セットアップ DVD Disc1』と添付ソフトウェアの CD-ROM を使います。

HDD イメージからのセットアップ

- 1 [スタート] ボタン - [マイ コンピュータ] をクリックする。
[マイ コンピュータ] が表示される。
- 2 [ローカルディスク (c:)] - [Documents and Settings] の順にダブルクリックする。
[Documents and Settings] が表示される。
- 3 [All Users] - [AP_Setup] の順にダブルクリックする。
[AP_Setup] が表示される。
- 4 [INSTMENU] をダブルクリックする。
[アプリケーション インストールメニュー] が表示される。
- 5 [INSTMENU] をダブルクリックする。
[アプリケーション インストールメニュー] が表示される。
- 6 必要なアプリケーションにチェックマークを付け、それ以外のアプリケーションのチェックマークを消す。
- 7 [インストール] ボタンをクリックする。
セットアップが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示される。[キャンセル] ボタンをクリックすると、セットアップは中止される。
- 8 [OK] ボタンをクリックする。
ほとんどのアプリケーションは、これでセットアップが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示される。

重要

アプリケーションをセットアップするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）でセットアップしてください。

重要

[スタート] メニューに登録されているプログラムフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

9 電子マニュアル『パソコン応用』4章の「アプリケーションのセットアップ」の「各アプリケーションの制限や設定」を参照してインストールを行う。

10 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン ([実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある) をクリックする。

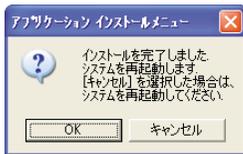
セットアップが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示される。

11 [OK] [はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックする。

次にセットアップするアプリケーションがある場合は、次のアプリケーションのセットアップが始まり、インストール開始確認画面が表示される。

12 チェックしたアプリケーションの数だけ、手順8～11を繰り返す。

終了すると、次の画面が表示される。



13 [OK] ボタンをクリックする。

Windows が立ち上げ直される。

再セットアップ DVD からのセットアップ

1 『再セットアップ DVD Disc1』を DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。

2 [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

参照

詳細について 電子マニュアル『パソコン応用』4章の「各アプリケーションの制限や設定」

重要

アプリケーションのインストール実行中に、他のアプリケーションのインストール開始確認画面が表示されることがあります。このような場合は、現在実行中のアプリケーションのインストールが終了してから、確認画面で [OK]、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックしてください。

重要

アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数10秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

[ファイル名を指定して実行]が表示される。

3 d:¥instmenu.exe と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

d は DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名

[アプリケーション インストールメニュー]が表示される。

4 必要なアプリケーションにチェックマークを付け、それ以外のアプリケーションのチェックマークを消す。

5 [インストール] ボタンをクリックする。

セットアップが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示される。[キャンセル] ボタンをクリックすると、セットアップは中止される。

6 [OK] ボタンをクリックする。

ほとんどのアプリケーションは、これでセットアップが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示される。

7 電子マニュアル『パソコン応用』4 章の「アプリケーションのセットアップ」の「各アプリケーションの制限や設定」を参照してインストールを行う。

8 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン ([実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある) をクリックする。

セットアップが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示される。

9 [OK] [はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックする。

次にセットアップするアプリケーションがある場合は、次のアプリケーションのセットアップが始まり、インストール開始確認画面が表示される。

10 チェックしたアプリケーションの数だけ、手順 6 ~ 9 を繰り返す。

終了すると、次の画面が表示される。

重要

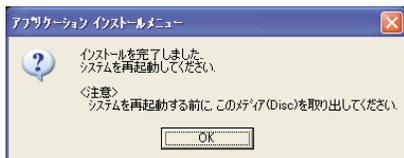
[スタート]メニューに登録されているプログラムフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

参照

詳細について 電子マニュアル『パソコン応用』4 章の「各アプリケーションの制限や設定」

重要

アプリケーションのインストール実行中に、他のアプリケーションのインストール開始確認画面が表示されることがあります。このような場合は、現在実行中のアプリケーションのインストールが終了してから、確認画面で [OK]、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックしてください。



11 [OK] ボタンをクリックする。

Windows を立ち上げ直す。

添付ソフトウェアの CD-ROM からセットアップ

セットアップの詳細については、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。

セットアップしたあと、はじめて立ち上げた時の対応
次のアプリケーションをセットアップしたあと、はじめて立ち上げたときは、番号などの入力が必要です。

アプリケーション名	番号の名称と記載場所
Microsoft Office XP Personal	CD キー (25 桁) CD-ROM ケースの裏側 ライセンス認証

Microsoft Office XP Personal

セットアップについては、付属の『セットアップガイド』をご参照ください。セットアップ時にセットアップオプションを選べます。必要に応じてセットアップオプションを選んでください。

重要

アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数 10 秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

重要

添付の Microsoft Office XP Personal (以下 Office) の CD で Office をセットアップし直した場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office の立ち上げ回数が許諾回数を超えると、新規ファイルの作成更新など一部の機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、『セットアップガイド』をご参照ください。

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

接続と準備

- 最初に読む本 -

初 版 2002 年 4 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社 日立製作所 インターネットプラットフォーム事業部

〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地

TEL:0120-8855-96

Copyright © Hitachi, Ltd. 2002. All rights reserved.



このマニュアルは、再生紙を使用しています。

200C711P0-1

